

介護困りごと相談

どげしたら、いいかね？



認知症の介護の困りごとや疑問について、介護経験者の方や専門家からのアドバイスを紹介します。



ご飯がすんでから間がないのに、「まだご飯を食べていない」と言うようになりました。どうしたらよいでしょうか？



介護経験者Aさん

私の夫もそうでした。食後に茶碗や箸をそのままにしておいて「さっき食べたでしょ」と言っても納得しませんでした。本人の「食べていない」という気持ちは変わらないんだと割り切る事にしました。

お茶を飲んでお菓子をつまみ、一息入れるようにすると落ち着いてくれるようになりました。

認知症専門医Bさん

認知症では直前の記憶が失われるので、食べた直後でも食べた事全部を忘れてしまいます。また、満腹感を感じ難くなる人もいます。

食べさせていいのかと心配されるかもしれませんが、この時期は動きが活発で、エネルギー消費が高いので、ある程度食べられても大丈夫です。

ケアマネジャーからのアドバイス

食べるのを止められると、食べたい気持ちが高まります。食べて穏やかな方が、お互いにストレスがないと思いますよ。

- 1、「もうすぐできるから、これ食べて待ってね」と、小さなおにぎり等を渡してみましょう。お菓子など、自分で出して食べられるものを少し置いておくのも良いと思います。
- 2、糖尿病など食事制限のある方は、少量に分けて出しましょう。生ものなど食べて欲しくないものは、目の当たらない所にしまっておきましょう。

やすらぎの家居宅介護支援事業所 TEL 23-9555
介護支援専門員：野淵(のぶち) 紀美子

編集後記

幼稚園の前を通ると、水遊びをする子供たちの楽しそうな声が聞こえます。子供たちの声は、梅雨の不快感を吹き飛ばし明るい気分にならせてくれました。

梅雨が明けると、猛暑の夏です。こまめに水分を取るなどして体に気をつけ、元気に過ごしましょう。



やすらぎの家だより 第41号

社会福祉法人やすらぎ福祉会・やすらぎの家デイサービス・やすらぎの家居宅介護支援

発行所 出雲市大津町西谷 2604-8

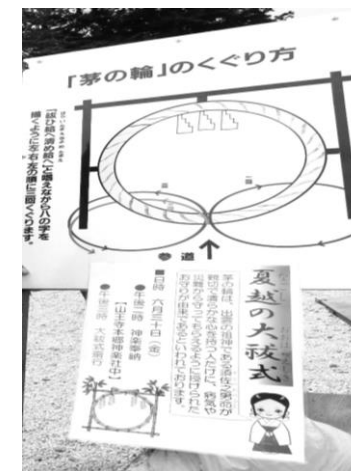
平成30年7月10日発行

TEL(0853)23-9555 ホームページ <http://izumo-yasuragi.org>

発行責任者 日野 和子



茅の輪くぐって夏越の大祓



「大社の北島さんところで、大きな輪っかができるが？そろそろだないだろうか？」と、以前は三十三ヶ寺参りやお遍路さんをされていた方が、夏越の大祓のことを教えてくださいました。出雲にずっと住んでいる人でも、この『茅の輪くぐり』を知らない方もおられるようで、「お陰をもらいに行こう！」と、はりきって出かけました。

『夏越の大祓』茅の輪は、病気や災難から守ってもらえるように授けられたと言われています。「『祓いたまへ清めたまへ…』と、唱えながら八の字を書くようにくぐるもんだよ」「今年もお参りでできて安心したわ」キレイに広がる青空の元、青々とした茅で出来た輪をくぐりながら、みんなで無病息災を願いました。

デイサービス ほっとコーナー



大根島ぼたん

昔、ご主人と出かけたことも思い出しながら、広い園内の色とりどりのぼたんの花を見てまわりました。

私は、この色のぼたんがいいですわ～！



立派なえんどう豆だわ…豆ごはんがいただないか

おやつは団子が一番



一の谷で見つけた“かたらの葉”子供の頃からよく食べた『かしわ餅』や『ずんだ餅』おいしくできあがりました。



懐かしの昭和物語

何気ない会話の中で見つけた、心に残る「昭和の暮らし」を紹介していきます。

梅干し

「家の大きな梅の木に実がいっぱいになっていたことを思い出すわ」
「長い竹竿で木をたたいてね、ぱらぱら落ちる梅の実を拾ったわ」
「頭の上にもポトンと落ちてきてねえ、ほんと懐かしいわあ」
「梅の実を塩で漬けてからね、戸板にならべてね、それから天日で何日も干すがね。土用の頃三日三晩干すといいやつができるがね」
「塩がまぶれたシワシワの梅干しのできあがりを楽しんでね」
「もうできたかな、と思っておそるおそる食べてみたもんだわ。なんて塩辛でねー」
「うわ～、ほんに話しとるだけで、口の中がすっぱくなるわ！」



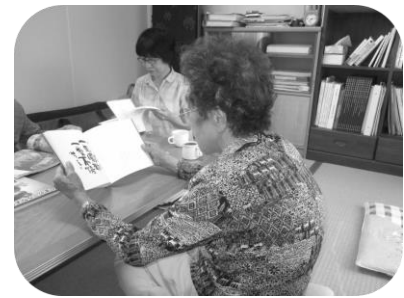
今年は梅シロップを作りました。



皇室の本を拝読中

皇室の写真集
すてきな笑顔だわ！

趣味のひとつ



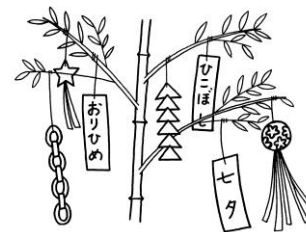
食後は静かに読書会



畑作り 収穫が楽しみです



見て見て！歯がはえてきたよ！



たちばな保育園



こいのぼりの季節、かわいいお客さんが来てくれました。お手玉遊びを楽しみました。



介護こぼれ話

感情のぶつかり

奥さんと二人暮らしで、介護されているご主人の言葉です。
「今ごろはコツがつかめてきたんだ。家内が怒ったような時は、わしがトイレにこもるんだ。しばらくしてから出ると、本人さんはケロッとしてるんだわ。わしが、気持ちの切り替えをどうできるかなんだなあ」

認知症の介護者への調査によると、暴言や無視したことがあるかという問いに、60.1%の人がある。殴りそうになったことはあるかの問いに 30.3%の人があると答えています。理解しがたいご本人の感情の波や、行動への戸惑いや困惑の実態がみられます。

お茶を一杯でもゆっくり飲む、ほんのひとつきでも一人の時間を持つ。現実はなかなか難しい事だと思いますが、感情のぶつかり合いを避けることが、小さいけれど大切な認知症の介護のコツだと思います。